

坂の上の雲マツプ。

歴史文化溢れるまちで育った小説の主人公たち。
彼らの足跡をたどる物語探訪に出かけませんか？



1 坂の上の雲ミュージアム

松山城南麓に位置し、周囲の環境と調和した、「坂の上の雲」のまちづくりの中核施設。小説の魅力などを伝えるさまざまな展示をしている。施設的设计は「司馬遼太郎記念館」を手がけた日本を代表する建築家・安藤忠雄氏。本に親しむ図書室「こども本の森 松山」(9:30~17:30)を併設。
🕒 9:00~18:30(入館は18:00まで)
🗓 原則月曜日
(詳細はホームページでご確認ください)(注)
☎ 089-915-2600



2 松山城

小説「坂の上の雲」の冒頭に描かれている松山城。賤ヶ岳(しずがたけ)七本槍の一人、加藤嘉明が慶長7年(1602)から約四半世紀の歳月をかけて築いた名城。現天守は1854年に再建落成されたもので、現存12天守の一つ。希少な連立式天守の広大な平山城で天守最上階からの眺望は素晴らしい。
🕒 9:00~17:00(入場は16:30まで。季節により変動)
🗓 12月第3水曜日(天守のみ)(注)
☎ 089-921-4873



3 萬翠荘

久松家第15代当主久松定謨(さだこと)の別邸として建築された純フランス風の洋館。木子七郎が設計し、当時としては珍しい本格的鉄筋コンクリート構造の建物。2011年11月29日、国の重要文化財に指定された。
🕒 9:00~18:00
🗓 月曜日(祝日の場合は開館)(注)
☎ 089-921-3711

4 二之丸史跡庭園

松山藩主の邸宅跡を史跡庭園として整備。古い絵図や発掘調査をもとに植栽や流水を使って間取りを再現しているほか、表御殿跡で見つかった大井戸の遺構も見ることができる。
🕒 9:00~17:00
(入園は16:30まで。季節により変動)
🗓 12月第3水曜日(注)
☎ 089-921-2000



5 庚申庵史跡庭園

小林一茶とも親交のあった俳人、栗田樗堂(ちようどう)の草庵。復元整備を行い史跡庭園として開放されている。
🕒 10:00~18:00(季節により変動)
🗓 水曜日(祝日の場合はその翌日)、12/28~1/4(注)
☎ 089-915-2204



見つめ 並ぶあ 秋山兄弟 16

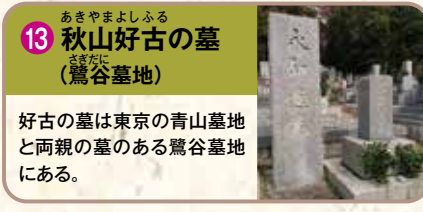
秋山好古銅像
昭和11年、弟の真之と同じ道後公園に建てられた好古の銅像は、昭和18年に撤去供出。昭和45年、梅津寺に再建された。最初の銅像は「騎兵の父」らしく乗馬姿だったが、現在の像は立ち姿となっている。

秋山真之銅像
昭和6年、日本海海戦25周年を記念して道後公園に建立された。台座には東郷平八郎の「智謀如湧」の揮毫がある。昭和18年、好古銅像と同じく供出。その後38年に石手寺に再建され、昭和43年に梅津寺へ。本を持ち、海を眺める姿で立っている。



15 ロシア兵墓地

日露戦争時、日本で初めて松山にロシア兵捕虜収容所がつくられた。多いときは4,000人を超える捕虜を収容したが、彼らは比較的自由な生活が許され、市民との交流も多かった。異国の地で生涯を終えたロシア兵捕虜たちを埋葬した墓地は、昭和35年(1960)に今の場所に移された。現在は地域住民や中学生による清掃活動が行われている。



13 秋山好古の墓

好古の墓は東京の青山墓地と両親の墓のある鷺谷墓地にある。

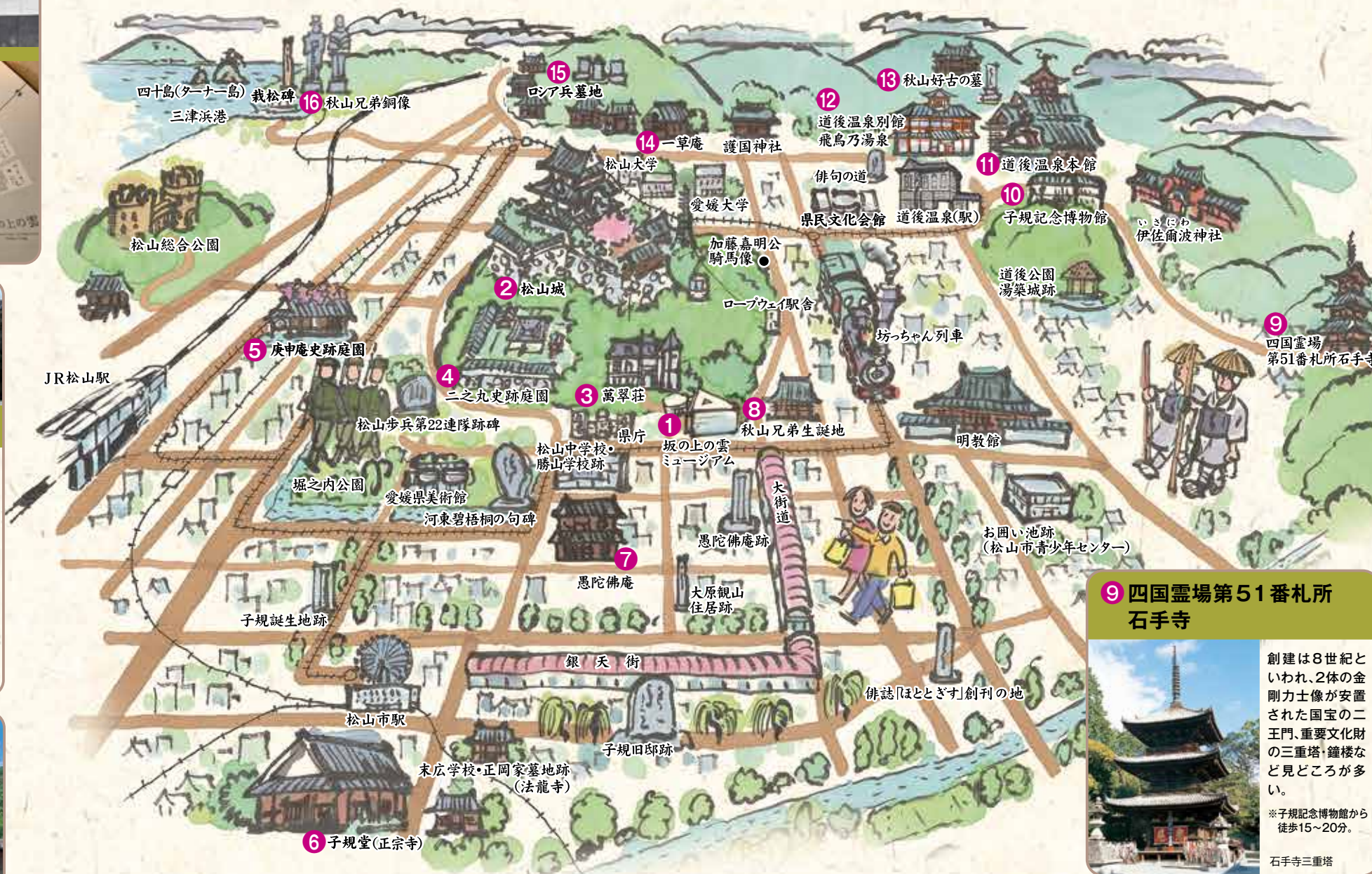
14 一草庵

放浪の俳人・種田山頭火が晩年に暮らした草庵。
🕒 9:00~17:00(注)
年末年始を除く土日・祝日に一般開放(季節により変動)
※外観の見学は自由
☎ 089-948-6952
(市文化・ことば課)



12 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

道後温泉本館と同じく、全国でも珍しい、加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」。建物のコンセプトは、日本最古といわれる温泉にふさわしい、596年聖徳太子の来湯や661年斉明天皇の行幸などの物語や伝説が残る、飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋。
🕒 6:00~23:00(2階は22:00まで)
※別途、札止め時間有り(注) ☎ 089-932-1126



11 道後温泉本館

約3000年の歴史を持つ日本最古の温泉といわれる道後温泉のシンボル。温泉好きの漱石が通った木造三層楼の本館は、国の重要文化財に指定されている。
🕒 6:00~23:00
※別途、札止め時間有り(注)
🕒 【又新殿観覧】9:00~17:00
☎ 089-921-5141

10 子規記念博物館



正岡子規の生涯や業績を紹介する文学系博物館。子規の世界を通して松山の文化や文学にも触れることができる。クイズコーナーなど体験型の展示も充実。案内をしてくれるインストラクター(無料・予約制)がいる。
🕒 5/1~10/31 9:00~18:00
(入館は17:30まで)
11/1~4/30 9:00~17:00
(入館は16:30まで)
🗓 火曜日(祝日の場合はその翌日)(注)
☎ 089-931-5566

9 四国霊場第51番札所 石手寺



創建は8世紀といわれ、2体の金剛力士像が安置された国宝の二王門、重要文化財の三重塔、鐘楼など見どころが多い。
※子規記念博物館から徒歩15~20分。
石手寺三重塔

7 愚陀佛庵

「文学のまち」「俳都松山」を象徴し、松山の歴史を知り、発信する新たな拠点。愚陀佛庵にまつわる歴史や漱石と子規、その友人たちの想いを未来につないでいくため、子規の母校・番町小学校の隣に再建。
🕒 10:00~19:30
🗓 水曜日、12/29~1/3(注)
☎ 089-954-5071



6 子規堂(正宗寺)

子規が上京する17歳まで暮らしていた湊町の住居を正宗寺の傍らに復元。室内には子規の遺墨や遺品などが展示されている。また、境内には子規の埋葬塔、正岡家累代(るいだい)の墓がある。
🕒 9:00~17:00(入館は16:40まで)
🗓 無休(注) ☎ 089-945-0400



8 秋山兄弟生誕地

秋山好古・真之兄弟は、ここ歩行町(かちまち)の下級武士の家に生まれ育った。その素朴を極めた生家に晩年の好古も住んだが、空襲のため焼失。戦後60年、当時の写真等を基に復元され、銅像や資料とともに、兄弟の生涯を偲ぶことができる。
🕒 10:00~17:00(入館は16:40まで)
🗓 月曜日
(祝日の場合はその翌日)(注)
☎ 089-943-2747

